



タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**経済学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20131505000701	科目番号	15050007
授業科目名	●現代経済概論		
編集担当教員	福澤 勝彦		
授業担当教員名(科目責任者)	山口 純哉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山口 純哉, 福澤 勝彦		
科目分類	学部モジュール科目、学部導入科目		
対象年次	1年	講義形態	講義科目
教室	[経] 本館 2 2 講義室		
対象学生 (クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	kfuku@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	東南アジア研究所 2階福澤研究室		
担当教員TEL	経済357		
担当教員オフィスアワー	木曜日1時~3時		
授業のねらい	(福澤) ミクロ経済学を学ぶことで何がわかるかを学ぶとともに、経済学の対象、考え方、論理の進め方の基礎を学ぶ。 (山口) 新聞紙上のマクロ経済にかかる事象について論じるために必要な考え方を学ぶ。		
授業方法 (学習指導法)	(福澤・山口) 毎回レジュメを配布し、講義形式で進める。		
授業到達目標	(福澤) ミクロ経済学の手法を説明できるようになることを目標とする。 (山口) マクロ経済にかかる事象を理論的に説明できるようになることを目標とする。		
授業内容	(概要) 経済学部で学ぶために必要なマクロ経済およびミクロ経済の基礎について概説する。 (福澤) 第1回 経済学を学ぶ意味 第2回 経済学の方法と10大原理 第3回 比較優位とは何か 第4回 アイスクリームの需要はどう表されるか？ 第5回 アイスクリームの供給はどう表されるか？ 第6回 アイスクリームの価格はどう決まるのか 第7回 価格と資源配分はどのように変化するのか？ (山口) 第8回 景気と景気循環1 第9回 景気と景気循環2 第10回 失業、インフレーションとデフレーション 第11回 国際収支と為替レート 第12回 財政政策と金融政策		

	第13回 政府の役割と財政赤字 第14回 現在のマクロ経済情勢 第15回 まとめ
キーワード	ミクロ経済学、マクロ経済学
教科書・教材・参考書	(福澤) テキスト：マンキュー『入門経済学』東洋経済新報社。 (山口) テキスト：伊藤元重[2001]『入門経済学（第2版）』日本評論社。
成績評価の方法・基準等	期末試験（100％）。60点以上を合格とする。
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**経済学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20131505000702	科目番号	15050007
授業科目名	●現代経済概論		
編集担当教員	山口 純哉		
授業担当教員名(科目責任者)	福澤 勝彦		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	福澤 勝彦,山口 純哉		
科目分類	学部モジュール科目、学部導入科目		
対象年次	1年	講義形態	講義科目
教室	[経] 本館 1 2 講義室		
対象学生 (クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	山口：junya-y@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	山口：東南アジア研究所215号室 福澤：東南アジア研究所212号室		
担当教員TEL	山口：326 福澤：357		
担当教員オフィスアワー	山口：毎週木曜日12:00～13:00 福澤：毎週木曜日13:00～15：00		
授業のねらい	(山口) 新聞紙上のマクロ経済にかかる事象について論じるために必要な考え方を学ぶ。 (福澤) ミクロ経済学を学ぶことで何がわかるかを学ぶとともに、経済学の対象、考え方、論理の進め方の基礎を学ぶ。		
授業方法 (学習指導法)	(山口・福澤) 毎回レジュメを配布し、講義形式で進める。		
授業到達目標	(山口) マクロ経済にかかる事象を理論的に説明できるようになることを目標とする。 (福澤) ミクロ経済学の手法を説明できるようになることを目標とする。		
授業内容	(概要) 経済学部で学ぶために必要なマクロ経済およびミクロ経済の基礎について概説する。 (山口) 第1回 景気と景気循環1 第2回 景気と景気循環2 第3回 失業、インフレーションとデフレーション 第4回 国際収支と為替レート 第5回 財政政策と金融政策 第6回 政府の役割と財政赤字 第7回 現在のマクロ経済情勢 (福澤) 第8回 経済学を学ぶ意味 第9回 経済学の方法と10大原理 第10回 比較優位とは何か		

	第11回 アイスクリームの需要はどう表されるか？ 第12回 アイスクリームの供給はどう表されるか？ 第13回 アイスクリームの価格はどう決まるのか 第14回 価格と資源配分はどのように変化するのか？ 第15回 まとめ 第16回 講義総括（試験を含む）
キーワード	
教科書・教材・参考書	（福澤）テキスト：マンキュー『入門経済学』東洋経済新報社。 （山口）テキスト：伊藤元重『入門経済学（第3版）』日本評論社。
成績評価の方法・基準等	期末試験（100％）。60点以上を合格とする。
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**経済学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20131505000501	科目番号	15050005
授業科目名	●現代経営概論		
編集担当教員	吉田 高文		
授業担当教員名(科目責任者)	吉田 高文		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉田 高文,土橋 力也		
科目分類	学部モジュール科目、学部導入科目		
対象年次	1年	講義形態	講義科目
教室	[経] 本館 1 2 講義室		
対象学生 (クラス等)	1年		
担当教員Eメールアドレス	taka-yo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	本館525		
担当教員TEL	095-820-6348		
担当教員オフィスアワー	金曜日12時30分から13時30分		
授業のねらい	企業経営に関する身近な話題をとりいれながら、企業活動や組織運営の基礎理論を学ぶとともに、企業活動の背景にある基本的な「経営原理」への理解を図る。		
授業方法 (学習指導法)	必要に応じ、プリント、ビデオ、教材提示装置などを利用しながら、講義形式で行う。		
授業到達目標	この授業では、さまざまな企業活動がどのようにして生じ、それがなぜ必要とされるのかなどを考えていくための題材や考え方が示される。受講生はこの学習に基づき、企業経営に関する疑問点や問題点を発見・整理し、これを解いていく力を身につけていくことができる。		
授業内容	(吉田担当分) 第1回 会社の設立 第2回 事業機会と経営戦略 第3回 人的資源管理とその必要性 第4回 生産システムとその管理 第5回 キャッシュフローの管理 第6回 経営情報の利用 第7回 まとめ (土橋担当分) 第8回 イントロダクション 第9回 経営学の全体像 第10回 会社とはなにか 第11回 企業統治とCSR 第12回 組織と戦略① 第13回 組織と戦略② 第14回 まとめ 第15回 最終まとめ (吉田・土橋)		

キーワード	会社，企業経営，経営環境
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。
成績評価の方法・基準等	両教員が50点ずつを持ち分とする。 吉田担当分は，期末試験40点と課題に対する期末報告書（レポート）10点とする。 土橋担当分は，期末試験50点とする。
受講要件（履修条件）	なし
本科目の位置づけ	学部モジュール科目
学習・教育目標	経済学部の基本分野の1つである経営学に関心を持たせ，その考え方などを理解させる。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	受講生は二人の教員の講義を連続して受ける（どちらか一方の教員の講義のみをうけることのないように）。講義中の私語は認めない。新聞などの最新の報道に関心を持つこと。





タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**経済学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20131505000502	科目番号	15050005
授業科目名	●現代経営概論		
編集担当教員	土橋 力也		
授業担当教員名(科目責任者)	土橋 力也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	土橋 力也, 吉田 高文		
科目分類	学部モジュール科目、学部導入科目		
対象年次	1年	講義形態	講義科目
教室	[経] 本館 2 2 講義室		
対象学生 (クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	trikiya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	東南アジア研究所 308室		
担当教員TEL	095-820-6355		
担当教員オフィスアワー	金曜13:00-1400。その他の時間を希望する場合は、アポイントを取って下さい。		
授業のねらい	企業経営に関する身近な話題をとりいれながら、企業活動や組織運営の基礎理論を学ぶとともに、企業活動の背景にある基本的な「経営原理」への理解を図る。		
授業方法 (学習指導法)	必要に応じ、プリント、ビデオ、教材提示装置などを利用しながら、講義形式で行う。		
授業到達目標	この授業では、さまざまな企業活動がどのようにして生じ、それがなぜ必要とされるのかなどを考えていくための題材や考え方が示される。受講生はこの学習に基づき、企業経営に関する疑問点や問題点を発見・整理し、これを解いていく力を身につけていくことができる。		
授業内容	(土橋担当分) 第1回 イン트로ダクション 第2回 経営学の全体像 第3回 会社とはなにか 第4回 企業統治とCSR 第5回 組織と戦略① 第6回 組織と戦略② 第7回 まとめ (吉田担当分) 第8回 会社の設立 第9回 事業機会と経営戦略 第10回 人的資源管理とその必要性 第11回 生産システムとその管理 第12回 キャッシュフローの管理 第13回 経営情報の利用 第14回 まとめ 第15回 最終まとめ (吉田・土橋)		

キーワード	会社，企業経営，経営環境
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。
成績評価の方法・基準等	両教員が50点ずつを持ち分とする。 吉田担当分は，期末試験40点と課題に対する期末報告書（レポート）10点とする。 土橋担当分は，期末試験50点とする。
受講要件（履修条件）	なし
本科目の位置づけ	学部モジュール科目
学習・教育目標	経済学部の基本分野の1つである経営学に関心を持たせ，その考え方などを理解させる。
備考（URL）	
備考（準備学習等）	受講生は二人の教員の講義を連続して受ける（どちらか一方の教員の講義のみをうけることのないように）。講義中の私語は認めない。新聞などの最新の報道に関心を持つこと。





タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**経済学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20131505000901	科目番号	15050009
授業科目名	●現代経済法概論		
編集担当教員	笹川 篤史		
授業担当教員名(科目責任者)	吉田 省三		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉田 省三, 笹川 篤史		
科目分類	学部モジュール科目、学部導入科目、自由（全学・専門）		
対象年次	1年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	〔経〕本館 2 2 講義室		
対象学生（クラス等）	1 年		
担当教員Eメールアドレス	sasagawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部東南アジア研究所318号室		
担当教員TEL	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー	木曜日午後（事前にEメールで予約を取ってください。）		
授業のねらい	【笹川】 経済活動と関係の深い法律（租税法、個別事業を規制する法律等）について、基本的事項を学ぶ。 【吉田】 独占禁止法・競争政策を素材として、法と経済社会に関する現代的課題についての理解を深める。		
授業方法（学習指導法）	授業は2クラス編成で行われ「前半」に吉田担当分を受講するクラスと笹川担当分を受講するクラスに分かれる。 「後半」は担当する教員が入れ替わる形式で行われる。このとき受講生は教室を移動しない。 【笹川】 配布資料及び教科書による講義。 【吉田】 配布資料等による講義。特定の教科書は使用しない。		
授業到達目標	【笹川】 経済活動と関係の深い法律についての基本的事項、法律を学ぶ意義について理解する。 【吉田】 独占禁止法・競争政策および政府規制の基礎的概念を理解し操作できるようにする。		
授業内容	授業内容（概要） 【笹川】 租税法を中心に経済取引と関連のある法律を講義する。 （外部講師による特別講義により、一部変更となる可能性がある。） 第1回 イントロダクション 第2回 経済取引と税金(1) 第3回 経済取引と税金(2) 第4回 経済取引と税金(3) 第5回 アルバイトと法律 第6回 消費者と法 第7回 法律に基づく許可が必要な事業、授業の総括 【吉田】 競争政策の重要課題(優越的地位濫用規制等)、独占禁止法の措置体系の見直しなどのテーマについて講義する。 第8回 課徴金減免制度―「自首」による効果は？		

	第9回 新自由主義構造改革と消費者の利益 第10回 経済法と憲法－経済活動と人権 第11回 経済法と刑法－企業の非行防止と刑事罰 第12回 電力事業者と独占禁止法－電力市場における競争 第13回 「優越的地位の濫用」・下請法－東京電力被疑事件・コンビニ商法 第14回 独占禁止法の国際比較－日本・欧州連合・合州国 第15回 まとめ（吉田、笹川）
キーワード	租税法、業法、労働法、消費者法、独占禁止法
教科書・教材・参考書	【笹川】教科書として図子善信『税法概論』を使用する予定。 【吉田】 ●教科書:使用しない。 ●参考文献（番号は講義の回と対応） 8. 日本経済法学会『独占禁止法改正』有斐閣、2005. 9. 二宮厚美『新自由主義の破局と決着』新日本出版社、2009 10. 岡田与好『経済的自由主義』東大出版、1987. 11. 中山研一『経済刑法入門』成文堂、2004. 12. 公正取引委員会「電力市場における競争の在り方について」2012年9月. 13. 植田忠義『フランチャイズは地域を元気にできるか』新日本出版社、2011. 14. 高瀬雅男「独占規制法制の変容と法」『法律時報増刊・改憲・改革と法』2008.
成績評価の方法・基準等	両教員が50点ずつを持ち分とする。 【笹川】授業中に実施するテスト（教科書持ち込み可）による評価。（期末試験は実施しない。） 【吉田】定期試験による（100％）
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	【笹川】授業時間外に、各自でインターネットを利用した課題作成を行います。





タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**経済学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20131505000902	科目番号	15050009
授業科目名	●現代経済法概論		
編集担当教員	吉田 省三		
授業担当教員名(科目責任者)	笹川 篤史		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	笹川 篤史, 吉田 省三		
科目分類	学部モジュール科目、学部導入科目、自由（全学・専門）		
対象年次	1年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	〔経〕本館 1 2 講義室		
対象学生（クラス等）	1年		
担当教員Eメールアドレス	yosida-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館512		
担当教員TEL	095-820-6397		
担当教員オフィスアワー	水曜10,00-12,00		
授業のねらい	【吉田】 独占禁止法・競争政策を素材として、法と経済社会に関する現代的課題についての理解を深める。 【笹川】 経済活動と関係の深い法律（租税法、個別事業を規制する法律等）について、基本的事項を学ぶ。		
授業方法（学習指導法）	授業は2クラス編成で行われ「前半」に吉田担当分を受講するクラスと笹川担当分を受講するクラスに分かれる。「後半」は担当する教員が入れ替わる形式で行われる。このとき受講生は教室を移動しない。 【吉田】 配布資料等による講義。特定の教科書は使用しない。 【笹川】 配布資料及び教科書による講義。		
授業到達目標	【吉田】 独占禁止法・競争政策および政府規制の基礎的概念を理解し操作できるようにする。 【笹川】 経済活動と関係の深い法律についての基本的事項、法律を学ぶ意義について理解する。		
	【吉田】 競争政策の重要課題(優越的地位濫用規制等)、独占禁止法の措置体系の見直しなどのテーマについて講義する。 第1回 課徴金減免制度―「自首」による効果は？ 第2回 新自由主義構造改革と消費者の利益 第3回 経済法と憲法―経済活動と人権 第4回 経済法と刑法―企業の非行防止と刑事罰 第5回 電力事業者と独占禁止法―電力市場における競争 第6回 「優越的地位の濫用」・下請法―東京電力被疑事件・コンビニ商法 第7回 独占禁止法の国際比較―日本・欧州連合・合州国 【笹川】 租税法を中心に経済取引と関連のある法律を講義する。		

授業内容	(外部講師による特別講義により、一部変更となる可能性がある。) 第1回 インTRODakション 第2回 経済取引と税金(1) 第3回 経済取引と税金(2) 第4回 経済取引と税金(3) 第5回 アルバイトと法律 第6回 消費者と法 第7回 法律に基づく許可が必要な事業、授業の総括 第15回 まとめ (吉田、笹川)
キーワード	
教科書・教材・参考書	【吉田】 ●教科書:使用しない。 ●参考文献 (番号は講義の回と対応) 1. 日本経済法学会『独占禁止法改正』有斐閣、2005. 2. 二宮厚美『新自由主義の破局と決着』新日本出版社、2009 3. 岡田与好『経済的自由主義』東大出版、1987. 4. 中山研一『経済刑法入門』成文堂、2004. 5. 公正取引委員会「電力市場における競争の在り方について」2012年9月. 6. 植田忠義『フランチャイズは地域を元気にできるか』新日本出版社、2011. 7. 高瀬雅男「独占規制法制の変容と法」『法律時報増刊・改憲・改革と法』2008. 【笹川】教科書として図子善信『税法概論』を使用する予定。
成績評価の方法・基準等	両教員が50点ずつを持ち分とする。 【吉田】定期試験による (100%) 【笹川】授業中に実施するテスト (教科書持ち込み可) による評価。(期末試験は実施しない。)
受講要件 (履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考 (URL)	
備考 (準備学習等)	【笹川】授業時間外に、各自でインターネットを利用した課題作成を行います。





タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**経済学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20131505000301	科目番号	15050003
授業科目名	●現代金融概論		
編集担当教員	大倉 真人		
授業担当教員名(科目責任者)	大倉 真人		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大倉 真人,山口 聖		
科目分類	学部モジュール科目、学部導入科目、自由（全学・専門）		
対象年次	1年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	〔経〕 本館 1 2 講義室		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	okura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館609号室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	金曜日17:00～18:00		
授業のねらい	＜大倉担当分＞金融政策および金融システムにかかる基本的知識および考え方を修得する。 ＜山口担当分＞金融商品および金融市場にかかる基本的知識および考え方を修得する。		
授業方法（学習指導法）	教員2名による連続した講義。		
授業到達目標	金融について効果的に学ぶために知っておく必要がある基礎的な知識・概念・制度について理解し、経済学部での今後の学習に備えることを目標とする。		
授業内容	第1回目授業については両クラス合同で講堂にて講義を行う。その後の授業は2クラス編成で行われ「前半」に第2回から第8回（大倉担当分）を受講するクラスと第9回から第15回（山口担当分）を受講するクラスに分かれる。「後半」は担当する教員が入れ替わる形式で行われる。このとき受講生は教室を移動しない。		
	回	内容	
	1	＜大倉・山口担当分＞ ガイダンス、金融論で何を学ぶか（テキスト第1章）	
	2	＜大倉担当分＞ 金利（テキスト第3章）	
	3	マクロ経済と金融政策（テキスト第4章）	
	4	マクロ金融政策と日本銀行（テキスト第5章）	
	5	日本の金融政策（テキスト第6章）	
	6	金融仲介機関の役割と日本の銀行（テキスト第8章）	
	7	銀行以外の金融機関（テキスト第9章）	
	8	金融システムの安定化のための政策（テキスト第10章）	
9	＜山口担当分＞		

		貨幣（テキスト第2章）
	10	金融システムの役割と日本の金融システムの特徴（テキスト第7章）
	11	伝統的な金融商品（テキスト第11章）
	12	市場性の金融商品（テキスト第12章）
	13	代表的な金融市場（テキスト第13章）
	14	ファイナンスの基礎理論（1）（テキスト第14章前半）
	15	ファイナンスの基礎理論（2）（テキスト第14章後半）
	16	定期試験
キーワード	金融、ファイナンス	
教科書・教材・参考書	以下のテキストを必ず毎回持参すること。 家森信善『はじめて学ぶ金融のしくみ（第3版）』中央経済社、2011年。	
成績評価の方法・基準等	両教員が50点ずつを持分とした期末試験による評価。	
受講要件（履修条件）	特になし。	
本科目の位置づけ	経済学部1年生が学習する導入科目であるとともに、昼間コースの1つであるファイナンスコースの学習内容を反映した基礎的な科目である。 経済学部4年間で必要とされる基本的な金融知識を習得する。	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**経済学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金 1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20131505000302	科目番号	15050003
授業科目名	●現代金融概論		
編集担当教員	山口 聖		
授業担当教員名(科目責任者)	山口 聖		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山口 聖,大倉 真人		
科目分類	学部モジュール科目、学部導入科目、自由（全学・専門）		
対象年次	1年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	〔経〕 本館 2 2 講義室		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	str-yamaguchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館625号室		
担当教員TEL	095-820-6367		
担当教員オフィスアワー	金曜日12:00～12:50		
授業のねらい	＜山口担当分＞金融商品および金融市場にかかる基本的知識および考え方を修得する。 ＜大倉担当分＞金融政策および金融システムにかかる基本的知識および考え方を修得する。		
授業方法（学習指導法）	教員2名による連続した講義。		
授業到達目標	金融について効果的に学ぶために知っておく必要がある基礎的な知識・概念・制度について理解し、経済学部での今後の学習に備えることを目標とする。		
授業内容	※第1回目授業については両クラス合同で講堂にて講義を行う。その後の授業は2クラス編成で行われ「前半」に第2回から第8回(山口担当分)を受講するクラスと第9回から第15回(大倉担当分)を受講するクラスに分かれる。「後半」は担当する教員が入れ替わる形式で行われる。このとき受講生は教室を移動しない。		
	回	内容	
	1	＜大倉・山口担当分＞ ガイダンス、金融論で何を学ぶか（テキスト第1章）	
	2	＜山口担当分＞ 貨幣（テキスト第2章）	
	3	金融システムの役割と日本の金融システムの特徴（テキスト第7章）	
	4	伝統的な金融商品（テキスト第11章）	
	5	市場性の金融商品（テキスト第12章）	
	6	代表的な金融市場（テキスト第13章）	
	7	ファイナンスの基礎理論（1）（テキスト第14章前半）	
	8	ファイナンスの基礎理論（2）（テキスト第14章後半）	
9	＜大倉担当分＞		

		金利（テキスト第3章）
	10	マクロ経済と金融政策（テキスト第4章）
	11	マクロ金融政策と日本銀行（テキスト第5章）
	12	日本の金融政策（テキスト第6章）
	13	金融仲介機関の役割と日本の銀行（テキスト第8章）
	14	銀行以外の金融機関（テキスト第9章）
	15	金融システムの安定化のための政策（テキスト第10章）
	16	定期試験
キーワード	金融、ファイナンス	
教科書・教材・参考書	以下のテキストを必ず毎回持参すること。 家森信善『はじめて学ぶ金融のしくみ（第3版）』中央経済社、2011年。	
成績評価の方法・基準等	両教員が50点ずつを持分とした期末試験による評価。	
受講要件（履修条件）	特になし。	
本科目の位置づけ	経済学部1年生が学習する導入科目であるとともに、昼間コースの1つであるファイナンスコースの学習内容を反映した基礎的な科目である。 経済学部4年間で必要とされる基本的な金融知識を習得する。	
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**経済学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20131505001101	科目番号	15050011
授業科目名	●国際関係概論		
編集担当教員	谷口 眞司		
授業担当教員名(科目責任者)	谷口 眞司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	谷口 眞司, 藤田 泰昌		
科目分類	学部モジュール科目、学部導入科目、自由（全学・専門）		
対象年次	1年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	〔経〕本館 1 2 講義室		
対象学生（クラス等）	1 年次		
担当教員Eメールアドレス	taniguchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	本館624		
担当教員TEL	095-820-6364		
担当教員オフィスアワー	原則、毎週木曜日の講義後		
授業のねらい	前半：国境を越えた取引について論理的に考える力を養うことを目的とします。 後半：国際関係の基本的な考え方、国際関係の歴史的変遷、そして現代の国際社会が抱える諸問題について基礎的理解を得ることを目的とします。		
授業方法（学習指導法）	前半・後半：レジュメと資料を用いた、講義形式で行います。		
授業到達目標	前半：国際経済学のミクロ・マクロの基礎理論と政策論を理解することを目標とします。 後半：国際関係論の基本的なアプローチを踏まえつつ、現代の国際関係がどのような歴史的経緯に由来するものなのかについて説明できるようになることを目標とします。		
授業内容	前半（第1回～第7回）の講義を谷口教員が担当し、後半（第8回～第14回）の講義を藤田教員が担当する。 第1回 グローバル化の進展 第2回 貿易（その1） 第3回 貿易（その2） 第4回 国際収支 第5回 為替レート（制度と決定要因） 第6回 開放マクロ経済 第7回 前半のまとめ 第8回 国際社会と国内社会は何が違うのか 第9回 国際関係の歴史的変遷－ 第一次世界大戦から第二次世界大戦まで 第10回 国際関係の歴史的変遷－ 冷戦以降の国際関係 第11回 核兵器をめぐる国際関係 第12回 地球環境をめぐる国際関係 第13回 東アジア地域の国際政治情勢 第14回 後半の講義のまとめ（国際関係論の基本的なアプローチ） 第15回 授業の総括 第16回 まとめ（試験を含む）		

キーワード	
教科書・教材・参考書	前半：レジュメ・資料を配布する。 後半：【参考書】村田晃嗣他『国際政治学をつかむ』（有斐閣2009年）
成績評価の方法・基準等	定期試験（100％）
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**経済学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20131505001102	科目番号	15050011
授業科目名	●国際関係概論		
編集担当教員	藤田 泰昌		
授業担当教員名(科目責任者)	藤田 泰昌		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤田 泰昌, 谷口 眞司		
科目分類	学部モジュール科目、学部導入科目、自由（全学・専門）		
対象年次	1年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	〔経〕本館 2 2 講義室		
対象学生（クラス等）	1 年次		
担当教員Eメールアドレス	fujitatf@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	本館606		
担当教員TEL	095-820-6361		
担当教員オフィスアワー	講義終了後		
授業のねらい	前半：国際関係の基本的な考え方、国際関係の歴史的変遷、そして現代の国際社会が抱える諸問題について基礎的理解を得ることを目的とします。 後半：国境を越えた取引について論理的に考える力を養うことを目的とします。		
授業方法（学習指導法）	前半・後半：レジュメと資料を用いた、講義形式で行います。		
授業到達目標	前半：国際関係論の基本的なアプローチを踏まえつつ、現代の国際関係がどのような歴史的経緯に由来するものなのかについて説明できるようになることを目標とします。 後半：国際経済学のミクロ・マクロの基礎理論と政策論を理解することを目標とします。		
授業内容	前半（第1回から第7回）の講義を藤田教員が担当し、後半（第8回から第14回）の講義を谷口教員が担当する。 第1回 国際社会と国内社会は何が違うのか 第2回 国際関係の歴史的変遷－ 第一次世界大戦から第二次世界大戦まで 第3回 国際関係の歴史的変遷－ 冷戦以降の国際関係 第4回 核兵器をめぐる国際関係 第5回 地球環境をめぐる国際関係 第6回 東アジア地域の国際政治情勢 第7回 前半の講義のまとめ（国際関係論の基本的なアプローチ） 第8回 グローバル化の進展 第9回 貿易（その1） 第10回 貿易（その2） 第11回 国際収支 第12回 為替レート（制度と決定要因） 第13回 開放マクロ経済 第14回 後半の講義のまとめ 第15回 授業の総括 第16回 まとめ（試験を含む）		

キーワード	
教科書・教材・参考書	前半：【参考書】村田晃嗣他『国際政治学をつかむ』（有斐閣2009年） 後半：レジュメ・資料を配布する。
成績評価の方法・基準等	定期試験（100％）
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	





タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**経済学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20131505000101	科目番号	15050001
授業科目名	●経済学部生のための数学		
編集担当教員	丸山 幸宏		
授業担当教員名(科目責任者)	丸山 幸宏		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	丸山 幸宏		
科目分類	学部モジュール科目、学部導入科目、自由（全学・専門）		
対象年次	1年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	〔経〕 本館 1 2 講義室		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	maruyama@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	本館530号室		
担当教員TEL	095-820-6344		
担当教員オフィスアワー	木曜日12:00～12:50		
授業のねらい	経済学や経営学で用いられる共通言語、また分析道具としての数学の基礎の修得。		
授業方法（学習指導法）	テキストに沿って講義形式で行う。		
授業到達目標	関数および微分の基礎的概念や計算方法について理解するとともに、簡単な経済的問題への応用を可能とすることを目標として掲げる。		
授業内容	主として微分法およびその応用（最適化問題）について講義を行う。なお科目の性格上、各自による復習（練習問題を使った反復練習など）が必須である。		
	回	内容	
	1	イントロダクション（本講義の目的、なぜ「経済学部」で「数学」を学習するのか？） 基本的事項①（利子計算）	
	2	基本的事項②（現在価値計算）	
	3	基本的事項③（指数関数）	
	4	基本的事項④（対数関数）	
	5	1変数関数の微分①（1変数関数の微分）	
	6	1変数関数の微分②（導関数を求める公式）	
	7	1変数関数の微分③（合成関数と逆関数の導関数、指数関数と対数関数の微分）	
	8	1変数関数の微分④（高階の導関数、関数の極値）	
	9	中間総括（中間試験）など	
	10	多変数関数の微分①（多変数関数、偏微分）	
	11	多変数関数の微分②（全微分、陰関数の微分）	
	12	多変数関数の微分③（2変数関数の合成関数の微分）	

	13	最適化問題（制約条件なし）
	14	最適化問題（制約条件あり）
	15	総括
	16	定期試験
キーワード	経済数学、関数、微分、最適化	
教科書・教材・参考書	教科書：藤田渉・福澤勝彦・秋本耕二・中村博和（編）『経済数学』勁草書房、2000年。 参考書：A. C. チャン・K. ウェインライト（著）（小田正雄・高森寛・森崎初男・森平爽一郎（訳））『現代経済学の数学基礎（上）』シーエーピー出版、2010年。	
成績評価の方法・基準等	中間試験50%、期末試験50%とする。ただし、いずれかの試験を受験しなかった場合は失格とする。	
受講要件（履修条件）	特になし（高校における数学Ⅰ以上の基礎があれば十分に着手可能である）。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		





タイトル「**2013年度シラバス**」、開講所属「**経済学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20131505000102	科目番号	15050001
授業科目名	●経済学部生のための数学		
編集担当教員	藤田 渉		
授業担当教員名(科目責任者)	藤田 渉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤田 渉		
科目分類	学部モジュール科目、学部導入科目、自由（全学・専門）		
対象年次	1年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	〔経〕 本館 2 2 講義室		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	wfujita@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部東南アジア研究所204号室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日12:00～12:50		
授業のねらい	経済学や経営学で用いられる共通言語、また分析道具としての数学の基礎の修得。		
授業方法（学習指導法）	テキストに沿って講義形式で行う。		
授業到達目標	関数および微分の基礎的概念や計算方法について理解するとともに、簡単な経済的問題への応用を可能とすることを目標として掲げる。		
授業内容	主として微分法およびその応用（最適化問題）について講義を行う。なお科目の性格上、各自による復習（練習問題を使った反復練習など）が必須である。		
	回	内容	
	1	イントロダクション（本講義の目的、なぜ「経済学部」で「数学」を学習するのか？） 基本的事項①（利子計算）	
	2	基本的事項②（現在価値計算）	
	3	基本的事項③（指数関数）	
	4	基本的事項④（対数関数）	
	5	1変数関数の微分①（1変数関数の微分）	
	6	1変数関数の微分②（導関数を求める公式）	
	7	1変数関数の微分③（合成関数と逆関数の導関数、指数関数と対数関数の微分）	
	8	1変数関数の微分④（高階の導関数、関数の極値）	
	9	中間総括（中間試験）など	
	10	多変数関数の微分①（多変数関数、偏微分）	
	11	多変数関数の微分②（全微分、陰関数の微分）	
	12	多変数関数の微分③（2変数関数の合成関数の微分）	

	13	最適化問題（制約条件なし）
	14	最適化問題（制約条件あり）
	15	総括
	16	定期試験
キーワード	経済数学、関数、微分、最適化	
教科書・教材・参考書	教科書：藤田渉・福澤勝彦・秋本耕二・中村博和（編）『経済数学』勁草書房、2000年。 参考書：A. C. チャン・K. ウェインライト（著）（小田正雄・高森寛・森崎初男・森平爽一郎（訳））『現代経済学の数学基礎（上）』シーエーピー出版、2010年。	
成績評価の方法・基準等	中間試験50%、期末試験50%とする。ただし、いずれかの試験を受験しなかった場合は失格とする。	
受講要件（履修条件）	特になし（高校における数学Ⅰ以上の基礎があれば十分に着手可能である）。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）		

